



9784074593712



1922037016009

ISBN978-4-07-459371-2

C2037 ¥1600E

定価： 本体1600円

※消費税が別に加算されます
主婦の友社

なぜ田舎の無名高校が東大、京大合格
トップ進学校になれたのか — 西大和学園の躍進 —

なぜ田舎の無名高校が

東大、京大合格

トップ進学校に

なれたのか

— 西大和学園の躍進 —

田野瀬良太郎

(西大和学園会長)

東大・京大

合格者数112名

全国3位

(共学校1位!!) 2023年度

“西大和学園イズム”

とは?

塾いらずで東大、京大、医学部へ!

次世代のグローバルリーダーを生む



田野瀬良太郎
(西大和学園会長)

1. 日本一の学校を目指して
2. 西大和学園の原点
3. 関西トップ進学校への道
4. 東大合格者急増のわけ
5. 西大和学園の現在と未来

わずか30年前までは無名の私立高校だった
奈良県の西大和学園。
いかにして東大・京大合格者数トップレベルの
進学校になったのか？
西大和学園が求める次世代のエリートとは？
「塾いらず」といわれる西大和学園の教育とは？

なぜ田舎の無名高校が
東大、京大合格
トップ進学校になれたのか

—西大和学園の躍進—

田野瀬良太郎
(西大和学園会長)

はじめに

「開校当初は田舎の無名私立校。大半が公立高校の教員採用試験に落ちた教師と、公立高校の受験に失敗した生徒たち。平凡なすべり止め高校だったんですよ」

私が思い出話をすると、たいがいの方は目を丸くします。

「西大和って、進学校のあの西大和学園ですか？」

「きつと大きさに言っているんでしょう？ だって、あの西大和がそんな」

にわかには信じていただけません。こうした方々の言う「あの西大和」の「あの」とは、現在の西大和学園中学校・高等学校に対する評価、特に大学への進学実績や中学・高校入試の偏差値を、おそらく指しているのでしょう。

東大、京大以外にも優秀な難関大学はたくさんありますが、両大学の合格者数を、ひとつのバロメーターとして使わせていただくのであれば、2023年の全国ランキング1位に開成（東京・創立153年）、2位に灘（兵庫・同97年）が入ってきて、西大和学園は全国3位。他の超名門校には全国的な知名度こそまだ及びませんが、ここ3年は全国トッ

プ3を争う位置をキープしています。

さて、ここで奈良県の教育事情、進学事情について少しご説明しておきましょう。

文部科学省の行う学習状況調査では、小中学生が学習塾に通う割合についても統計を取っていますが、奈良県は長年にわたり全国トップレベルの通塾率となっています。また、ここ10年に渡り東大・京大合格者率（高校3年生1000人に対する合格者の割合）が47都道府県中、つねにベスト3をキープしていることがテレビ番組で紹介され、大きな話題となるなど、その高い進学実績でも注目されています。こうした数々のデータから、奈良県は全国の都道府県のなかでも特に「教育熱心な県」というイメージが定着しています。

奈良県は全県1学区制入試、つまり住んでいる地域にかかわらず、県内の公立高校ならどこでも受験できる制度を実施しています。

成績優秀な生徒は奈良、畝傍、郡山といった県立の進学校を受験するか、西大和学園、東大寺学園を筆頭に、奈良学園、帝塚山、智弁学園など奈良県内にある中高一貫の私立進学校を選ぶ。さらに関西圏には、大阪に大阪星光、京都に洛南、洛星、兵庫に灘、甲陽学院と超難関を含め私立進学校がひしめいている通学圏という事情もあって、奈良県は中学

受験、高校受験への関心度は昔からひじょうに高かったのです。

そんな関西圏で進学校と呼ばれているほとんどの学校は創立50年、なかには100年を超える名門校もあります。

そのなかで、西大和学園はとても「若い学校」です。

おかげさまで、関西圏では、すでに進学校としてある程度、認知していただけるようになりまして。ですが、全国での知名度はまだまだありません。東京で仕事をしていると、「灘や東大寺は知っているけど、西大和なんて聞いたことないです」という方ばかり。

まだまだ全国区に知名度がない理由、それは、西大和学園の成長があまりにも急速であったためだと思います。

この急成長ぶりは「異例中の異例」とも「奇跡」とも言われ、なかには「表には出せない「マジック」でも使ったのだろう」といぶかる声も上がったほどです。いわく

「進学塾から優秀な生徒を強引な方法で迎え入れたのではないか」

「名門進学校から、受験のスペシャリストのような教員を引き抜いたのではないか」ともそんな知恵はありませんでした。

なかには、こんな残念な噂もありました。

「田野瀬は政治家だから、一般の庶民には知りえない「奥の手」を使って、数字の操作をしたのだろう」

たしかに、開校当時は奈良県の県議会議員という肩書を持ち、1993年に初当選してからは衆議院議員として国政に長く携わってきました。でも、学校経営者と政治家という立場はつねに切り離して考えていましたし、むしろ「政治家だから何がしかの恩恵にあずかっている」といった誤解を与えないよう、神経質なまでに線引きをしていました。

公立中堅校のすべり止めからスタートした西大和学園が、なぜここまで右肩上がりですべて実績を伸ばせたのか？そこに「奇跡」や「マジック」は果たしてあったのか？

その答えをみなさんに見つけていただくべく、時計の針を開校初年度の1986年まで巻き戻してみたいと思います。

2024年4月

西大和学園会長 田野瀬良太郎

もくじ

はじめに

2



第1章

日本一の学校を目指して

11

窓ガラスのない教室で／日本一の学校を目指して／どこにでもある「中堅クラス」の私立高校／放課後の大混乱／全人教育か？ スポーツ強豪校か？／どこだって本当は進学校にしたいんですよ／賛成派たった二人からのスタート／エリートになり切れなかった教師たちの本音／進学校推進派VS改革否定派／出過ぎた杭は打たれない／授業の一変に戸惑う生徒たち／スピードチェンジ授業／生徒は熱い教師についていく／教師はお山の大将／ところで君、お酒は飲めますか？／12人の新卒教師とともに／入学前に三者面談を実施／週末に夢を語り合う

第2章

西大和学園の原点

63

1年間の海外放浪の旅に出発／社会主義国家の現実を知る／世界中の人々が日本に注目していた／タイで政治家を志す／市議員になる／議員浪人としての8年間／保育園をつくる／学校をつくりたいという夢が広がる／資金ゼロからの学園づくり／プロも断言「この学校はきっと人気になる」／収まりきらない受験生の長い列

第3章

関西トップ進学校への道

87

学校の混乱は続く／体育系クラブの躍進／体育教師たちの抵抗／明け方まで続いた体育教師との話し合い／突然の部活動規制令／スポーツオタク、勉強オタクになるな／関大20人合格が最初の目標／恐れずどんなことでもやってみる／トップ進学校はチャイムの音が違う／自習室の失敗／クーラーのない教室と生徒の逆襲／泊まり合宿で絆を深める／隣の担当がライバル／学年責任制度の採用／先生は営業マンでもある／保護者の願いを全部かなえた学校／なぜ学校には校長・教頭・先生しかいないのか



東大合格者急増のわけ

原石を発掘する／先生の方で生徒が変わったエピソード／自分自身が登校拒否だった福井先生／東大合格者第1号誕生！／国公立実績を上げる／6期生（中学1期生）の快拳／受験失敗シヨックも行事で払拭／中学入学後の最初のテストで6年間のすべてが決まる？／海外研修旅行／世界へ飛び出す西大和学園6期生／生え抜き校長は34歳／進学推進派vs改革否定派の10年戦争に終止符／灘校の高すぎる壁／ダーウィンのことばを信じて／全国ランキングトップ10入り／「受験勉強だけじゃなく、いろんなことを学びたい」という子が出てきた

西大和学園の現在と未来

生徒を劇的に変えたスーパーサイエンスハイスクール／さらに多様化した英語教育／英語で世界の学生と討論できる模擬国連／京大ならどこでもいいという生徒はもういない／70項目の改革案／日本一放課後が賑やかな学校になった／東大合格者増加のポイント／世界で活躍する大人と出会えるトップランナー講義／東大をすべり止めに海外名門大学へ／アメリカ西海岸に西大和学園の教育を展開／女子短大から始めた大学づくり／夢の4年制大学がついに開学／実学・実践を重んじる究極の大学／西大和学園ゆずりの面倒見のよさで有名企業・難関大学院に続々合格／西大和学園の国際教育の集大成「グローバルビジネス学科」誕生／大炎上した「東の早慶、西の大和」／人生にウルトラCはない／次世代のリーダーたちへ

日本一の
学校を目指して



田野瀬良太郎 RYOTARO TANOSE

昭和18年10月31日生まれ。奈良県五條市出身。名古屋工業大学卒。大学時代に1年間アルバイトをしながら、ロシアからヨーロッパ、中近東、東南アジアなど33か国を歴訪。これを機に政治の道を志し、昭和48年五條市議会議員初当選。その後、奈良県議会議員、衆議院議員に当選し、自治政務次官、財務副大臣、自民党文部科学部会長、自民党三役・総務会長（第48代）を務める。議員活動を始めてまもなく、教育は政治上の最重要課題であると痛感し、実践として昭和56年になかよし保育園を開園。その後、西大和学園高等学校・中学校、西大和学園カリフォルニア校、白鳳女子短期大学を設立し、平成26年4月に大和大学を開学し、学長に就任。学校法人西大和学園会長。

@主婦の友 に参加しませんか？

本好きのあなたの声をお聞かせください



- 図書カードやベストセラー書籍などのプレゼント
- 編集会議やモニター会などのイベント
- 会員限定のお得な特典あり！

なぜ田舎の無名高校が東大、京大合格トップ進学校になれたのか

【STAFF】

構成／藤村幸代

装丁・デザイン・DTP／清水洋子

校正／阿部一恵(阿部編集事務所)

編集／加藤文隆(主婦の友社)

なぜ田舎の無名高校が 東大、京大合格トップ進学校になれたのか 西大和学園の躍進

令和6年5月31日 第1刷発行

著者 田野瀬良太郎

発行者 平野健一

発行所 株式会社主婦の友社

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア

電話 03-5280-7537 (内容・不良品等のお問い合わせ)

049-259-1236 (販売)

印刷所 大日本印刷株式会社

©Ryotaro Tanose 2024 Printed in Japan ISBN978-4-07-459371-2

■本のご注文は、お近くの書店または主婦の友社コールセンター（電話0120-916-892）まで。

*お問い合わせ受付時間 月～金(祝日を除く) 10:00～16:00

*個人のお客さまからのよくある質問のご案内 <https://shufunotomo.co.jp/faq/>

回(日本複製権センター委託出版物)

本書を無断で複写複製(電子化を含む)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書をコピーされる場合は、事前に公益社団法人日本複製権センター(JRRC)の許諾を受けてください。また本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

JRRC (<<https://jrcc.or.jp>> eメール: jrcc_info@jrcc.or.jp 電話: 03-6809-1281)

※本書は2015年刊行『田舎の無名高校から東大、京大にバンバン合格した話』に加筆、修正のうえ再構成したものです。